

令和5年度 第1回

地域包括支援に関する会議

資料 5

7 議事

(3) 高齢者の権利擁護の推進について

資料5 「高齢者の権利擁護の推進について」

- 1 頁1 「養護者による高齢者虐待の状況」に見られる主な特徴
- 2 頁2 養護者による高齢者虐待の状況
- 3 頁3～5 虐待の状況分析
 - (1) 虐待者側の要因
 - (2) 被虐待者側の状況
 - (3) 家族の要因
 - (4) 要介護者虐待の危険性
 - (5) 要介護者虐待につながる要因
- 4 頁6～7 高齢者虐待の状況
 - (1) 養護者による高齢者虐待状況
 - (2) 養介護施設従事者等による高齢者虐待状況
- 5 頁8 「令和4年度養介護施設従事者等に対する高齢者虐待防止の取組みについて」
 - (1) 養介護施設従事者等による高齢者虐待（疑）の通報状況
 - (2) 養介護施設従事者に対する高齢者虐待防止の取組み状況

1 「養護者による高齢者虐待の状況」に見られる主な特徴

(1)虐待通報件数及び認知件数

(件数)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
通報件数	206	200	236	322 (+36.4%)
認定件数	108	112	108	148 (+37.0%)

※()内は前年度比

令和4年度は通報件数・認定件数ともに大幅に増加した。

(2)被虐待者の年齢別構成

(人数)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
65～69歳	9(8%)	5(4%)	7(6%)	11(7%)
70～79歳	28(26%)	43(38%)	29(27%)	58(39%)
80～89歳	54(50%)	56(50%)	62(57%)	67(45%)
90歳以上	18(17%)	11(10%)	14(13%)	15(10%)
合計	109	115	112	151

※()内は合計に占める割合

被虐待者年齢別構成では80歳以上が、半数を超えている。

(3)養護者(虐待者)の属性

(人数)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
夫	26 (23%)	30 (25%)	27 (23%)	53 (34%)
妻	5 (4%)	6 (5%)	9 (8%)	6 (4%)
息子	35 (31%)	51 (42%)	42 (36%)	48 (30%)
娘	28 (25%)	18 (15%)	27 (23%)	31 (20%)
息子の配偶者	2 (2%)	3 (2%)	1 (1%)	0 (0%)
娘の配偶者	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (1%)
兄弟姉妹	4 (4%)	3 (2%)	3 (3%)	4 (3%)
孫	2 (2%)	4 (3%)	3 (3%)	3 (2%)
その他	9 (8%)	7(6%)	4 (3%)	11 (7%)

※()内は全体に占める割合

養護者(虐待者)の属性において、令和4年度は夫からの虐待割合が増加した(11ポイント)。

虐待者の構成は夫・息子・娘で概ね8割を超える。

2 養護者による高齢者虐待の状況

		法施行年度						
		平成18年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
通報・届出	件数(実数)	136	206	200	236	322		
	通報者(重複有)	介護支援専門員・事業所職員	53 (39%)	90 (44%)	84 (42%)	119 (50%)	132 (41%)	
		近隣住民	14 (10%)	4 (2%)	7 (4%)	6 (3%)	7 (2%)	
		民生委員	32 (24%)	9 (4%)	8 (4%)	7 (3%)	13 (4%)	
		被虐待者本人	12 (9%)	20 (10%)	15 (8%)	20 (8%)	15 (5%)	
		家族・親族	12 (9%)	24 (12%)	28 (14%)	31 (13%)	29 (9%)	
		虐待者自身	0 (0%)	0 (0%)	7 (4%)	6 (3%)	3 (1%)	
		行政職員・警察	10 (7%)	52 (25%)	47 (24%)	45 (19%)	114 (35%)	
		その他	20 (15%)	7 (3%)	4 (2%)	3 (1%)	9 (3%)	
計	153	206	200	237	322			
事実確認の際に立入調査をした件数		1	0	0	0	0		
虐待と認定した件数		98	108	112	108	148		
虐待(重複有別)	身体的虐待	45 (46%)	75 (69%)	88 (79%)	79 (73%)	107 (72%)		
	介護・世話の放棄・放任	39 (40%)	22 (20%)	22 (20%)	28 (26%)	20 (14%)		
	心理的虐待	24 (24%)	42 (39%)	40 (36%)	26 (24%)	60 (41%)		
	性的虐待	0 (0%)	0 (0%)	3 (3%)	1 (1%)	0 (0%)		
	経済的虐待	34 (35%)	17 (16%)	13 (12%)	11 (10%)	20 (14%)		
計		142	156	166	145	207		
被虐待者の情報	性別	男	16 (16%)	20 (19%)	25 (22%)	18 (17%)	24 (16%)	
		女	82 (84%)	89 (82%)	89 (79%)	94 (87%)	127 (86%)	
	年齢	65歳~69歳	11 (11%)	9 (8%)	5 (4%)	7 (6%)	11 (7%)	
		70歳~79歳	40 (41%)	28 (26%)	43 (38%)	29 (27%)	58 (39%)	
		80歳~89歳	39 (40%)	54 (50%)	56 (50%)	62 (57%)	67 (45%)	
		90歳以上	8 (8%)	18 (17%)	11 (10%)	14 (13%)	15 (10%)	
		不明	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	
	介護認定情報	自立・未申請		30 (31%)	24 (22%)	19 (17%)	26 (24%)	32 (22%)
		要介護認定済みのもの		68 (69%)	85 (79%)	96 (86%)	83 (77%)	115 (78%)
		要介護度	要支援1・2	9 (9%)	9 (8%)	13 (12%)	7 (6%)	18 (12%)
要介護1~3			44 (45%)	67 (62%)	72 (64%)	61 (56%)	83 (56%)	
要介護4・5			13 (13%)	9 (8%)	11 (10%)	15 (14%)	14 (9%)	
不明			2 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	
認知症度	自立・I	17 (17%)	18 (17%)	21 (19%)	19 (18%)	38 (26%)		
	II以上	44 (45%)	67 (62%)	74 (66%)	63 (58%)	76 (51%)		
	不明	7 (7%)	0 (0%)	1 (1%)	1 (1%)	1 (1%)		
同居	養護者と同居	79 (81%)	96 (89%)	97 (87%)	102 (94%)	128 (86%)		
	養護者と別居(内訳は重複有)	19 (19%)	13 (12%)	18 (16%)	10 (9%)	23 (16%)		
虐待者(重複有)	(養護者)虐待者	夫	14 (12%)	26 (23%)	30 (25%)	27 (23%)	53 (34%)	
		妻	6 (5%)	5 (4%)	6 (5%)	9 (8%)	6 (4%)	
		息子	48 (42%)	35 (31%)	51 (42%)	42 (36%)	48 (30%)	
		娘	18 (16%)	28 (25%)	18 (15%)	27 (23%)	31 (20%)	
		息子の配偶者	7 (6%)	2 (2%)	3 (2%)	1 (1%)	0 (0%)	
		娘の配偶者	3 (3%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (1%)	
		兄弟姉妹	2 (2%)	4 (4%)	3 (2%)	3 (3%)	4 (3%)	
		孫	6 (5%)	2 (2%)	4 (3%)	3 (3%)	3 (2%)	
		その他	10 (9%)	9 (8%)	7 (6%)	4 (3%)	11 (7%)	
		計	114	112	122	116	158	
対応状況	分離した事例(最初にを行った対応)	契約による施設入所等	39	39	50	44	67	
		老人福祉法による措置	10	13	24	18	27	
		緊急一時保護	10	3	2	1	3	
		医療機関へ入院	3	2	3	3	8	
		その他	11	11	11	18	20	
		その他	5	10	10	4	9	
	分離していない事例(内訳は重複有)	助言・指導	49	54	67	71	84	
		サービス利用	35	25	42	49	61	
		見守り	30	23	31	35	38	
		見守り	5	8	10	5	13	
	成年後見制度利用	うち市長申立て	7	15	12	7	15	
		うち市長申立て	4	8	10	5	6	
日常生活自立支援事業利用(地域福祉権利擁護事業)	5	0	3	0	0			

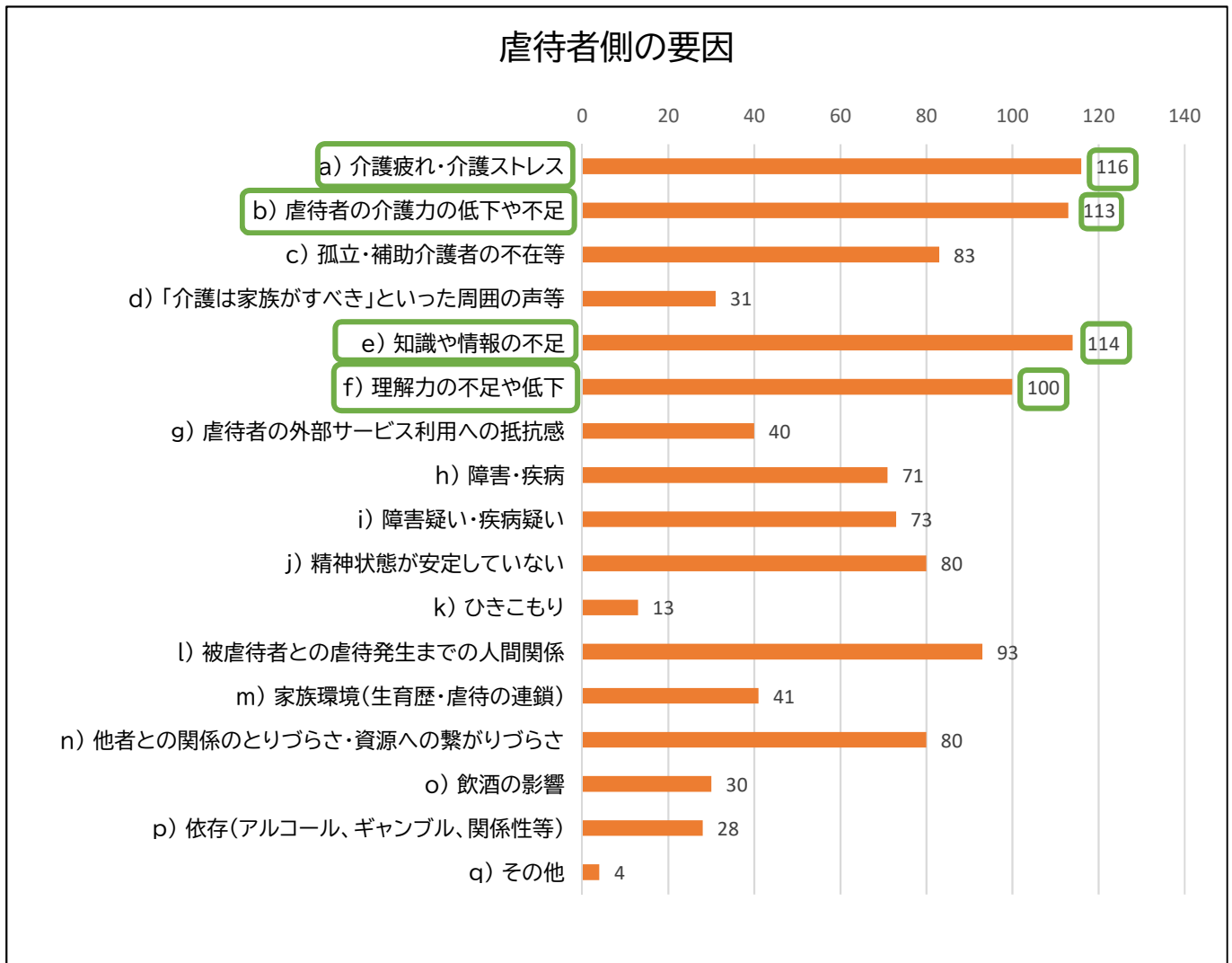
※対応状況については、対象年度以前に通報受理した事例のうち今年度に対応したものを含む

※26年度より国統計の変更のため、虐待判断時点ですでに分離状態の場合は、分離した事例に計上していない

3 虐待の状況分析

(1) 虐待者側の要因

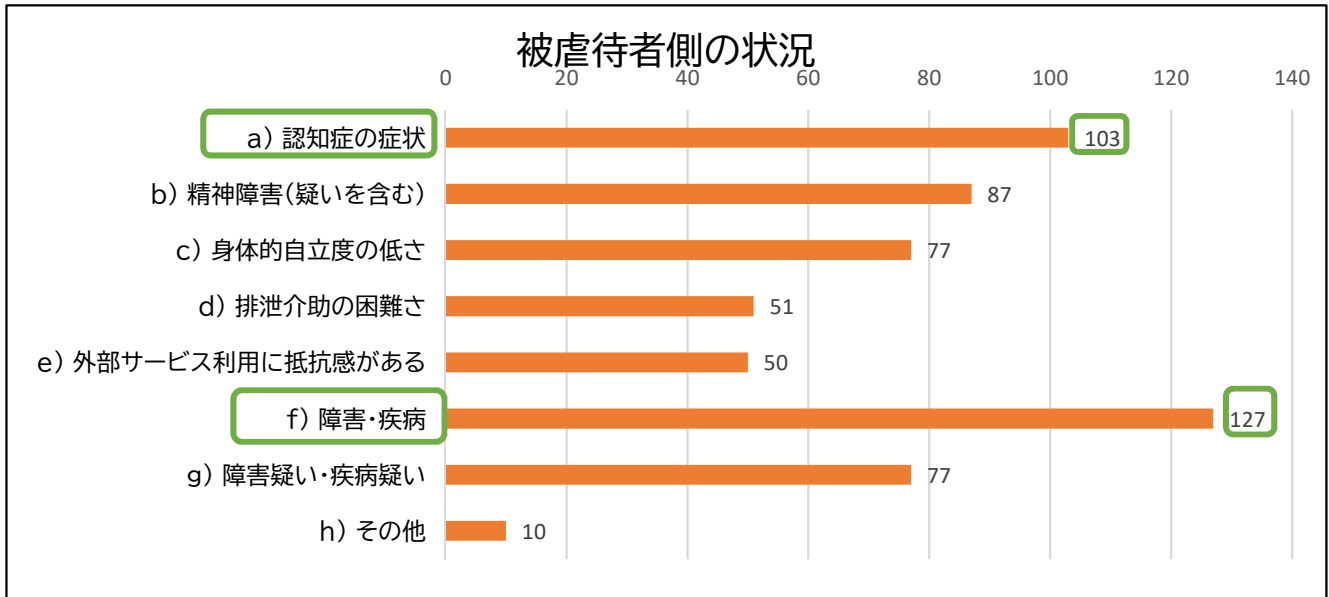
虐待者側の要因としては「介護疲れや・介護ストレス」が最も多く、「虐待者の介護力の低下や不足」「知識や情報の不足」、「理解力の低下や不足」なども多くなっている。



※調査対象年度に虐待と認定した事例の集計

(2) 被虐待者側の状況

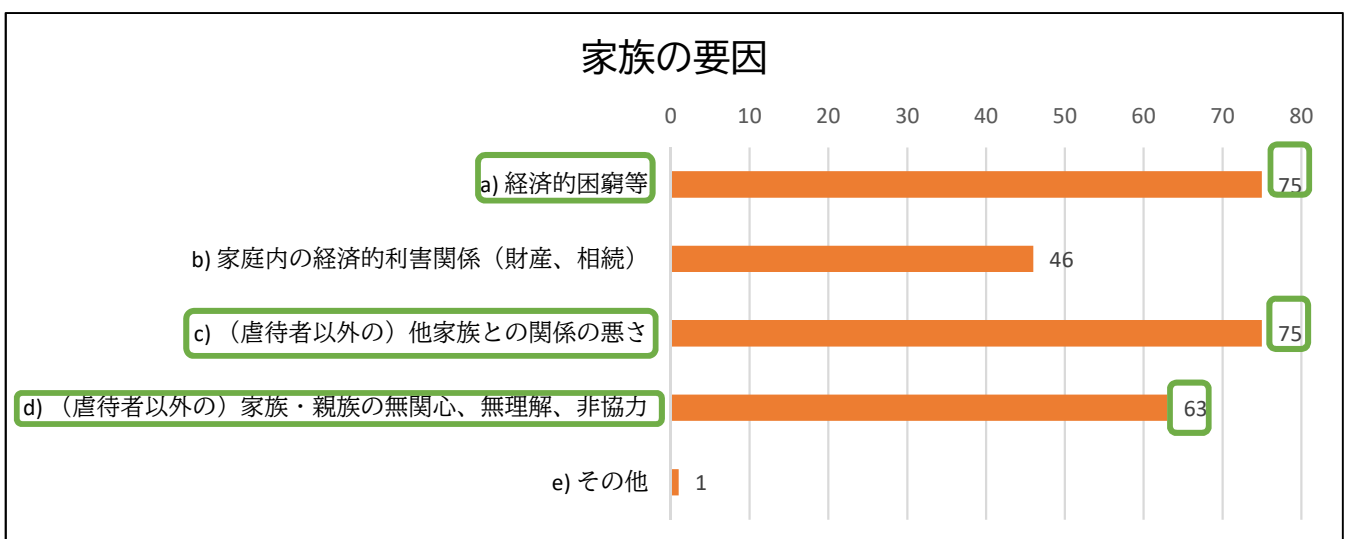
被虐待者側の状況は「障害・疾病」が最も多く、ついで「認知症の症状」も多くなっている。



※調査対象年度に虐待と認定した事例の集計

(3) 家族の要因

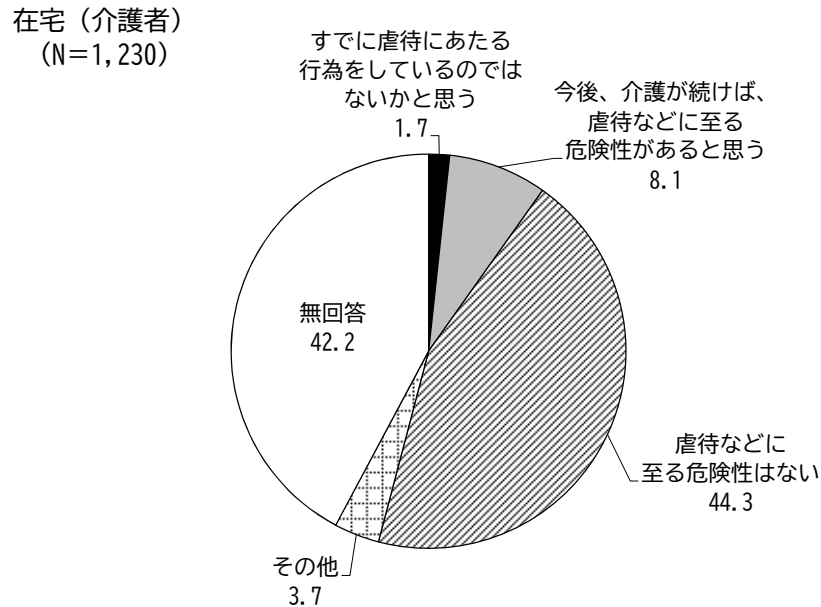
家族の要因は「経済的困窮等」、「(虐待者以外の)他家族との関係の悪さ」が最も多く、ついで、「(虐待者以外の)家族・親族の無関心、無理解、非協力」が多くなっている。



※調査対象年度に虐待と認定した事例の集計

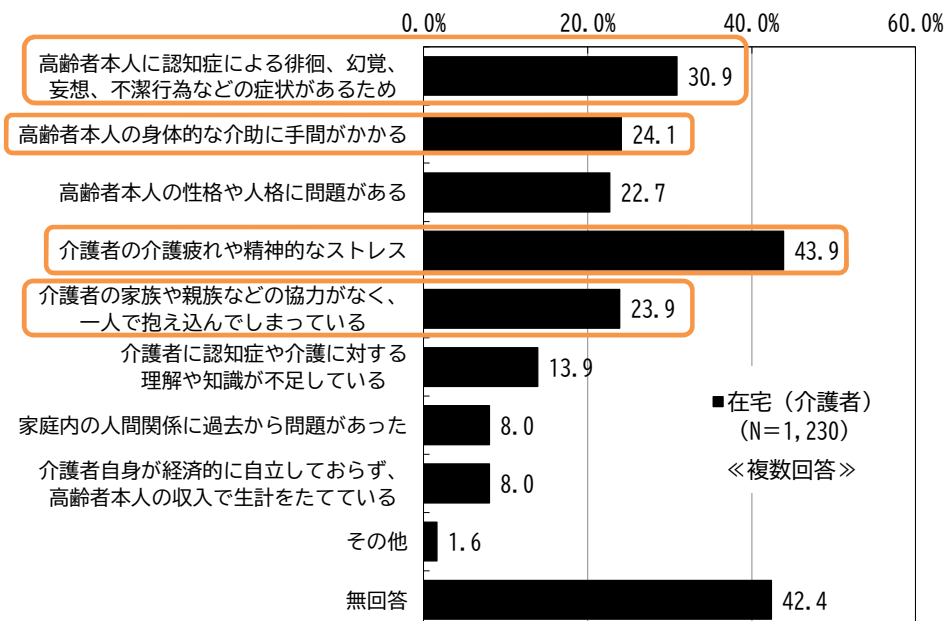
(4) 要介護者虐待の危険性

介護者に要介護者への虐待に至る危険性を感じたことがあるか尋ねたところ、「虐待などに至る危険性はない」が44.3%と最も多く、次いで「今後、介護が続けば、虐待などに至る危険性があると思う」が8.1%、「すでに虐待にあたる行為をしているのではないかと思う」が1.7%となっている。



(5) 要介護者虐待につながる要因

高齢者への虐待はどのような要因で起こると思うか尋ねたところ、「介護者の介護疲れや精神的なストレス」が43.9%と最も多く、次いで「高齢者本人に認知症による徘徊、幻覚、妄想、不潔行為などの症状があるため」が30.9%、「高齢者本人の身体的な介助に手間がかかる」が24.1%、「介護者の家族や親族などの協力がなく、一人で抱え込んでしまっている」が23.9%、「高齢者本人の性格や人格に問題がある」が22.7%となっている。



4 高齢者虐待の状況

厚生労働省が公表した「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果で、全国、県及び本市の比較は次のとおり。

(1) 養護者による高齢者虐待状況

	年度	H29	H30	R元	R2	R3
全国	認定数	17,078	17,249	16,928	17,281	16,426
	相談・通報件数	30,040	32,231	34,057	35,774	36,378
	高齢者1万人あたりの認定数	4.86	4.85	4.72	4.82	4.56
	高齢者人口 (単位：万人)	3,515	3,558	3,589	3,584	3,602
福岡県	認定数	495	480	449	482	445
	相談・通報件数	896	930	967	958	1,017
	高齢者1万人あたりの認定数	3.58	3.41	3.15	3.44	3.17
	高齢者人口 (単位：万人)	138.4	140.8	142.5	140.0	140.6
本市	認定数	99	117	108	112	108
	相談・通報件数	187	216	206	200	236
	高齢者1万人あたりの認定数	3.47	4.06	3.72	3.85	3.70
	高齢者人口 (単位：万人)	28.5	28.8	29.0	29.1	29.2

※高齢者人口は、各年の10月1日現在

(2) 養介護施設従事者等による高齢者虐待状況

	年度	H29	H30	R元	R2	R3
全国	虐待認定数	510	621	644	595	739
	相談・通報件数	1,898	2,187	2,267	2,097	2,390
	要介護・要支援認定者 1千人あたりの 虐待認定数	0.08	0.10	0.10	0.09	0.11
	要介護・要支援 認定者数(千人)	6,331	6,437	6,594	6,693	6,865
福岡県	虐待認定数	20	22	24	20	27
	相談・通報件数	71	85	86	75	77
	要介護・要支援認定者 1千人あたりの 虐待認定数	0.08	0.08	0.09	0.07	0.10
	要介護・要支援 認定者数(千人)	262	266	270	272	276
本市	虐待認定数	9	4	6	3	3
	相談・通報件数	32	31	24	24	24
	要介護・要支援認定者 1千人あたりの 虐待認定数	0.14	0.06	0.09	0.05	0.04
	要介護・要支援 認定者数(千人)	63	65	66	66	67

※要介護・要支援認定者数は、各年の4月末現在

5 令和4年度養介護施設従事者等に対する高齢者虐待防止の取組みについて

(1) 養介護施設従事者等による高齢者虐待（疑）の通報状況

相談・通報件数	14件	
虐待が確認されたもの 8件	サービス種別	認知症対応型共同生活介護（2件） 介護老人福祉施設（3件） 介護老人保健施設（1件） 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（1件） 地域密着型通所介護（お泊りデイ）（1件）
	虐待種別	身体的虐待（4件） 性的虐待（1件） 介護・世話の放任・放棄（3件）
虐待の事実が認められ なかったもの 6件	サービス種別	介護老人保健施設（1件） 住宅型有料老人ホーム（1件） 短期入所療養介護（1件） 地域密着型介護老人福祉施設（1件） 認知症対応型共同生活介護（1件） 小規模多機能型居宅介護（1件）

(2) 養介護施設従事者に対する高齢者虐待防止の取り組み状況（令和4年度）

ア 介護サービス従事者研修

権利擁護・高齢者虐待防止に関する研修

研修名	回数	受講者数	講義内容
権利擁護セミナー（基礎編）	2回	64人	・成年後見制度
権利擁護セミナー（応用編）	1回	17人	・成年後見制度を活用した対応方法
身体拘束廃止セミナー	3回	124人	・身体拘束廃止のための方策を学ぶ
高齢者虐待防止セミナー	3回	128人	・高齢者施設における個人の尊厳のための実践
高齢者虐待防止のための指針策定セミナー	1回	141人	・虐待防止指針作成の実際
合計	10回	474人	

イ 認知症ケアにあたる専門的な研修

研修名	回数	受講者数	講義内容
認知症介護基礎研修※	—	—	・認知症の理解と対応の基本 ・認知症ケアの実践上の留意点
認知症介護実践者研修等	13回	284人	・介護サービス事業所における指導者や介護実務者を対象に、認知症高齢者の介護に関する知識や技術の習得

※認知症介護基礎研修は令和3年度より、指定団体（認知症介護研究・研修仙台センター）がeラーニングで実施。